

参加申込先 一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール行 FAX. 03(3434)5505 TEL. 03(3434)6271(直通)
 http://school.jma.or.jp/isoms/ E-mail: seminar@jma.or.jp 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
受付時間>月～金曜日9:00～17:00(ただし祝日を除く)

参加申込規定 DK

参加セッション数	1セッション/1名	2セッション/1名	3セッション/1名	4セッション/1名
一般社団法人日本能率協会 法人会員	14,000円	26,000円	37,000円	48,000円
会員外	16,000円	29,500円	42,000円	55,000円

※テキスト代(セッション別)が含まれております。昼食はついておりません。
 ※複数セッションにお申し込みの場合は交替参加ができます。 ※本事業終了時の消費税率を適用させていただきます。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。http://www.jma.or.jp/membership/

参加申込方法
 申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは郵送にてお送りいただくか、もしくは、ホームページよりお申し込みください。申込責任者へ参加証と請求書を開催1カ月前よりお送りいたします。(それ以外をご希望される場合は、その旨参加申込書の「連絡希望事項欄」にご記入ください)
 電話による予約も承ります。その場合でも、正式のお申し込みとして、必ず申込書をお送りください。
【会期間近に申し込まれる場合】
 あらかじめ電話にてご確認ください。(参加定員等の関係で参加できない場合があります)

参加料支払方法
 ・請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振り込みください。お支払いは、原則として開催前日までに振込みください。開催後になる場合は、お支払い予定日を申込書に記入してください。
 ・振込手数料は貴社にて負担ください。

キャンセル規定
 参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方も都合つかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 (注)キャンセルの場合は、必ずファックスでご連絡ください。
 開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算)……………参加料の30%
 開催前日および当日……………参加料の全額

ご注意
 1. 上記金額はご参加セッションのテキスト分冊代が含まれています。(テキストは当日、会場でお渡しいたします。ただし、社内データ等の講演資料は印刷物としてお渡しできないことがあります)
 2. セッション選択はお申し込み時に、ご決定ください。
 3. 会場内の携帯電話・PHS・および録音機・ビデオ・カメラ・パソコン等の使用はご遠慮ください。
 4. お申し込まれた方にはセミナーインフォメーションをお送りする場合がございます。

個人情報の取扱いについて
 一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(http://www.jma.or.jp/privacy/)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

免責事項
 天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

※参加証・請求書は原則としてこの方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、【連絡希望事項欄】へご記入ください。(注)太線の枠内をご記入ください。

SBBF01		開催期日		参加者区分	
第8回 ISOマネジメントシステム活用事例大会		2016年2月25日(木)～26日(金)		該当欄に✓印をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 一般社団法人日本能率協会 法人会員 <input type="checkbox"/> 上記会員外 電話番号(市外局番からご記入ください) () FAX番号(市外局番からご記入ください) ()	
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
会社名(正式名称)	事業所名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
所在地	〒	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
申込責任者名	所属役職名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	E-mail	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	JMA主催の関連催し物のメール配信	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加者①	所属役職名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
氏名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
所在地	〒	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	E-mail	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	申込責任者と異なる場合はご記入ください。	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加者②	所属役職名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
氏名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
所在地	〒	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	E-mail	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	申込責任者と異なる場合はご記入ください。	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加者③	所属役職名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
氏名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
所在地	〒	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	E-mail	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
	申込責任者と異なる場合はご記入ください。	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加料	●1セッション (¥) × ()名 ¥	●2セッション (¥) × ()名 ¥	●3セッション (¥) × ()名 ¥	●4セッション (¥) × ()名 ¥	合計金額(税抜) ¥
	【日本能率協会への連絡希望事項欄】				参加証発行日
	お振込み予定日 月 日				請求書発行日
					領 取 日

法人会員入会のおすすめ
 小会法人会員にご入会いただくセミナー参加料金割引などのサービスがございます。セミナー参加申込に併せて小会法人会員への入会を是非ご検討ください。
 詳細は→http://www.jma.or.jp/membership/

会場案内 グランパーク カンファレンスホール
 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目4番1号

【交通のご案内】・都営地下鉄浅草線・三田線……………「三田」下車徒歩7分
 ・JR山手線、京浜東北線……………「田町」下車徒歩5分



プログラム内容の問い合わせ先
 一般社団法人 日本能率協会 ISO研修事業部
 電話 03(3434)1242(直通) Fax 03(3434)1243

ISOで“マネジメント”と“競争力”を強化する
 ～他社事例から学ぶ、QMS・EMSの有効活用～

ISO 第8回 マネジメントシステム 活用事例大会

会期 2016年2月25日(木)～26日(金)の2日間

会場 グランパーク カンファレンスホール (東京都・港区)

主催 一般社団法人日本能率協会

協賛 (50音順) 一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会 ISO審査センター(LIA-AC)

日本海事検定キューエイ株式会社(NKKKQA)

一般財団法人日本ガス機器検査協会 QAセンター(JIA-QA Center)

株式会社 日本環境認証機構(JACO)

一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)

株式会社 マネジメントシステム評価センター(MSA)

一般社団法人 日本能率協会 審査登録センター(JMAQA)

参加対象

ISO認証取得・構築中の組織の

- 経営者・管理責任者、ISO事務局の責任者・担当者
- 品質管理・品質保証部、環境管理部 等の管理者・担当者
- ISOマネジメントシステム審査員 の方々

最新情報はWEBサイトでチェック!
 (お申し込みもコチラから)
<http://school.jma.or.jp/isoms/>
ISO事例大会 **検索**

ISO 第8回 マネジメントシステム 活用事例大会

開催にあたって

わが国のISOマネジメントシステムの第三者認証制度が始まってから20年以上が経過し、現在では延べ80,000件にも及ぶ企業・組織の認証・登録が普及・浸透しております。

2015年にはISO9001/14001が改訂され、企業・組織の移行対応がそろそろ本格的になってまいりました。また、ISOマネジメントシステム規格はMSS共通テキストにより、様々な規格が今後統合しやすくなり、企業・組織にとって、これまで以上に経営活動に活かしやすくなったと言えるでしょう。

しかしながら、その一方で、企業・組織においては、経営活動の強化や改善、顧客からの理解と信頼に直結した活動や、経営の意思決定のしくみとして確実に有効活用している組織はまだ少なく、多くの企業・組織がマネジメントシステムの運用面での課題を抱えているのが現状です。

本大会では、グローバルスタンダードの活用を今一度考え、ISO規格改訂への対応動向やISOマネジメントシステムの様々な有効活用事例発表を通じて、それぞれのテーマに対する課題解決のための情報共有を図り、ISOマネジメントシステムの更なる有効活用と、企業・組織の競争力・マネジメント力強化のための今後の取り組みや方向性を探ることを目的に開催いたします。

企画委員会 委員一覧 (社名50音順・敬称略)

委員長		
横山真一郎	東京都市大学 知能工学部 経営システム工学科 主任教授	
委員		
舟木 敦	アサヒビール株式会社 生産本部 生産部 担当部長	
山田 泰史	カルビー株式会社 品質保証本部 品質監査部 品質保証課 課長	
中村 真彦	株式会社資生堂 大阪工場 副工場長	
黒木 信宏	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 業務マネジメントグループ マネージャー	
中村 卓二	株式会社ナムダム 製品保証部 製品保証室 主事	
小池田恒行	ヤマハ株式会社 品質保証部 SN品質保証室 室長	
伊藤 明	ユウアイ電子株式会社 取締役会長／日本電計株式会社 執行役員	

組織委員会 委員一覧 (社名50音順・敬称略)

上戸 亮	一般財団法人 日本エルピーガス機器検査協会 ISO審査センター 理事
市川 牧	日本海事検定キューエイ株式会社 代表取締役社長
青木 武行	一般財団法人 日本ガス機器検査協会 QAセンター 理事 QA事業部長
谷口 幸弘	株式会社 日本環境認証機構 取締役 技術部 部長
竹中 聡	一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 企画・推進センター 所長 兼 企画調整部長
藤井 信二	株式会社 マネジメントシステム評価センター 代表取締役
安井 亮一	一般社団法人 日本能率協会 審査登録センター センター長

最新情報・お申込はコチラから **ISO事例大会** 検索 <http://school.jma.or.jp/isoms/>

10:00

セッションA ISO9001:2015年版移行に対応した実例とそのポイント

企業事例講演

ISO9001:2015年版への移行対応 —当社が考える重要ポイントとその取り組み

2008年版との変化点で当社が重要ポイントにするのは、
①顧客満足 ②リスク及び機会への取り組み ③パフォーマンス評価であり、全ての根底に共通する認識は潜在的な品質リスクやビジネスチャンスを予め顕在化させることである。2015年版では予防処置の項目はなくなったが、未然にリスクや機会を感知する意味で予防処置の概念は残っているという認識での当社の取り組みを説明する。

講演者 新日本金属株式会社 代表取締役社長 永島 武仁

我が社が今年度にISO9001:2015年版への移行を目指した理由

- ①元管理責任者(2008年版改訂時)との連携
- ②FSSC22000認証取得によるマネジメントシステムに対する意識の高まり
- ③経営層の意思決定
- ④移行に向けた取り組み

講演者 株式会社タバタ 品質保証部 次長 柳下 和徳

コーディネータ 一般社団法人日本能率協会 理事・事務局長 武中 和昭

13:00

セッションB パフォーマンスを向上させる効果的なマネジメントシステム運用と内部監査

企業事例講演

目標を「管理」するのではなく、目標を達成していくためのシステム作り

品質方針を設定し、品質目標を設定させ、目標を達成していくことの責任は経営者にあります。私はISOの運用を進めるなかで、経営者としての責任を実際果たしているかということが、いつも頭から離れませんでした。目標達成のためには、目標管理の活用が有効ですが、「目標」によって「部門」や「個人」がどうしても別々に「管理」されているようで、全体の力を結集して「目標を達成していく」という点で不十分でした。そこで、「目標を達成していく」という点に絞り、仕組み作りを行ってみました。その結果、経営者の役割がまた別の面から見えてきました。

講演者 株式会社ビッドシステム 代表取締役 谷 径史

効果的な内部監査システムによる、QMSの徹底と利益の統合

社員による内部監査が形骸化、トップの問題意識にも追いつかない。そんな実のない内部監査から脱却するために外部の力量ある方に監査リーダーを委託、自社の監査員と一緒に毎月各事業所を廻っている。独自の内部監査システムを導入して10年。客観的な目で図られたQMS運用の徹底とコスト・利益の統合、そして内部監査に対する社員の意識の変化についてお伝えする。

講演者 エヌケイエス株式会社 事業本部 QM運用保証グループ長 岩瀬 留美

コーディネータ 日本海事検定キューエイ株式会社 ISOサービスセンター 講師 山田 瑞哉

17:00

(講演順・敬称略)

2016年2月26日(金)

セッションC ISO14001:2015年版移行審査に対応した実例とそのポイント

企業事例講演

事業直結の環境経営を目指す我が社の規格改訂対応

弊社はEMSを2000年に導入しましたが、予てより事業に直結した環境活動をどうすべきかが課題になっておりました。2014年の末に規格改訂の情報を知り、スタッフと共にDIS版で勉強したところ、事業に直結した環境経営の在り方を示していることが分かってきました。それでは、なるべく早く移行しようということになり活動を開始、11月11日に判定会議で「登録」の知らせを聞きました。私たちが導入を通じて学んだ①事業への統合 ②外部及び内部の課題 ③利害関係者のニーズと期待 ④リスク及び機会への対応 ⑤ライフサイクルの視点など、今回の規格改訂の重要ポイントを理解し、私たちが学んだ「時代に合った環境経営の在り方」をお伝えします。

講演者 日本ウエストーン株式会社 代表取締役社長 臼井 麻紗社

ISO14001:2015認証取得による環境経営への取り組み

2015年10月にISO14001:2015への移行更新審査を受審し、11月に認証取得を完了した。ISO14001:2015規格の改訂ポイントの内、下記①～③をメインとした環境マネジメントシステム(以下「EMS」)の概要と実際の取り組み内容を事例として紹介する。
①経営戦略、事業計画のEMSへの取込みを実現し、経営と環境の融合
②「組織及びその状況の理解」「利害関係者のニーズ及び期待の理解」「リスク及び機会への取り組み」等の特定及び決定とパフォーマンス向上の取り組み
③上記以外のEMSでの主な取り組み

講演者 株式会社日立製作所 交通システム社 経営企画本部 環境工事管理部 部長 高橋 俊幸

コーディネータ 株式会社日本環境認証機構 取締役 技術部 部長 谷口 幸弘

セッションD 経営と現場をつなぐマネジメントシステムとは —統合・複数の規格を活用する考え方とその対応—

企業事例講演

統合マネジメントシステムにおける2015年版対応の側面把握

堀場グループは品質・環境・労働安全衛生・事業継続マネジメントシステムを統合(IMS)運用しています。QMS・EMSの2015年版に、FDISより先行対応し、IMS側面把握を実施しています。
①堀場IMSの概要
②2015年版対応側面把握
③経営に貢献するIMSの課題

講演者 株式会社堀場製作所 品質改革推進部 部長 山村 充

経営と現場に役立つマネジメント変革をこうして実践した

- ・ISO9001導入・運用実態と効果
- ・ISO導入の問題点
- ・当社に役立つマネジメントシステムを目指す
- ・ISOに対する新たな取り組み---迷走から確信へ
- ・MS改革プロジェクト——
①再構築方針の明確化②現場中心の体制③PJ実践方針の徹底④MS文書の全面刷新⑤MS意識改革⑥MSの見える化

講演者 株式会社生田 代表取締役社長 生田 治

コーディネータ 一般財団法人日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 審査事業センター 品質審査部 次長 大久保 友順

※テーマ、講演者、講演内容は変更される場合がございます(最新情報はホームページをご確認ください)。また、発表内容について、配付不可の資料はテキスト(当日配付)に含まれない場合がございます。以上、予めご了承ください。